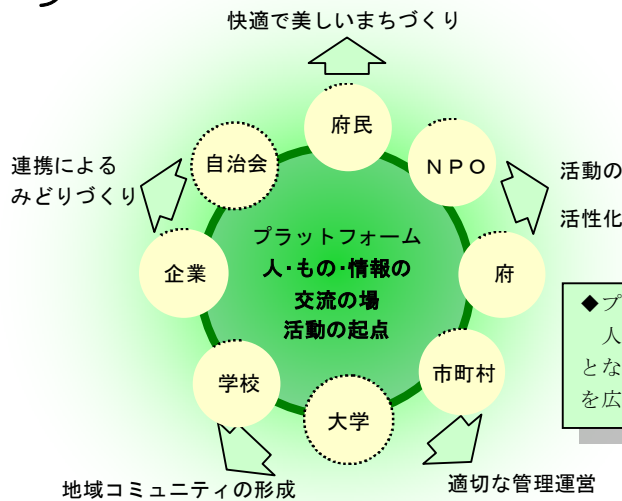


5. 基本戦略—4 みどりの行動の促進

目標

府民や企業、NPOなどの協働による保全の体制や仕組みづくりなどにより、「みどりを通じた地域力の再生」を目指します。

施策展開イメージ



具体的戦略

みどりづくりを通じた地域力再生の推進

◆ 校庭の芝生化など地域の核となるみどりづくり

校庭の芝生化は、子どもたちの健全な心と体の形成、熱環境の改善や砂埃の防止といった効果はもとより、地域コミュニティの形成促進にもつながることが期待されます。

小学校や幼稚園などの校庭の芝生化や、学校ピオトープの整備を行うとともに、企業等が維持管理を支援する「芝生アシスト制度」等により多様な主体の参画を呼びかけ、みどりの体制づくりを通じた地域力の再生を図ります。



◆ みどりづくりを通じた地域交流の促進

小・中学校等へ土や種、小さな苗等を支給し、府の技術的な支援のもと、学校内で子どもたちが花を育て、それらを学校や地域、公共空間の緑化などに活用する「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」や、地域が協働して行う緑化への緑化樹配付などの支援を市町村などと連携して進め、みどりづくりを通じた地域の交流や、緑豊かなまちづくり活動への展開を促進します。



◆ 大規模公園などを拠点とした地域防災力の向上

広域避難地や後方支援活動拠点となる府営公園の整備を進めるとともに、その防災機能を府民が十分に活用できるように、みどりの中で様々な防災知識を習得できる「防災フィールドワーク・キャラバン」などを実施し、みどりづくりへの意識啓発を図りながら、災害に対する地域の連携力・防災力を高めます。



府民、NPO、企業等との連携推進

◆ 企業等のCSR活動と連携したみどりづくり

府が企業等と森林所有者の仲人となって企業の森づくり活動への参画を促す「アドプト・フォレスト制度」をはじめ、企業や地域住民と連携した森づくり（中環の森）、関空2期土砂採取跡地に官民協働で創る岬町多奈川地区多目的公園など、企業等による様々なCSR活動と、みどりづくりを行う機会や公共空間などとのマッチングや、企業等による環境貢献度を評価する仕組みづくりなどにより、企業等と連携したみどりづくりを推進します。

◆ CSR (Corporate Social Responsibility)

企業の社会的責任。企業の活動に社会的公正や倫理、環境への配慮を取り入れ、消費者、地域社会に対し、責任ある行動をとるという考え方。



◆ 新たな公によるみどりづくり

公共空間のみどりについて利用者が主体の管理・運営の仕組みづくりを促進します。

泉佐野丘陵緑地では、利用者である府民や企業等の参画による運営協議会を設置し、公園の将来像と具体化方策を検討・実行していきます。「共生の森」づくりや岸和田市神於山をはじめとする自然環境保全活動などにおいても、府民・企業・NPO など多様な主体の参画による協議会等が主体となり、みどりの保全・創出を進めていきます。



◆ 府民協働による森、公園、道、川、海辺づくり

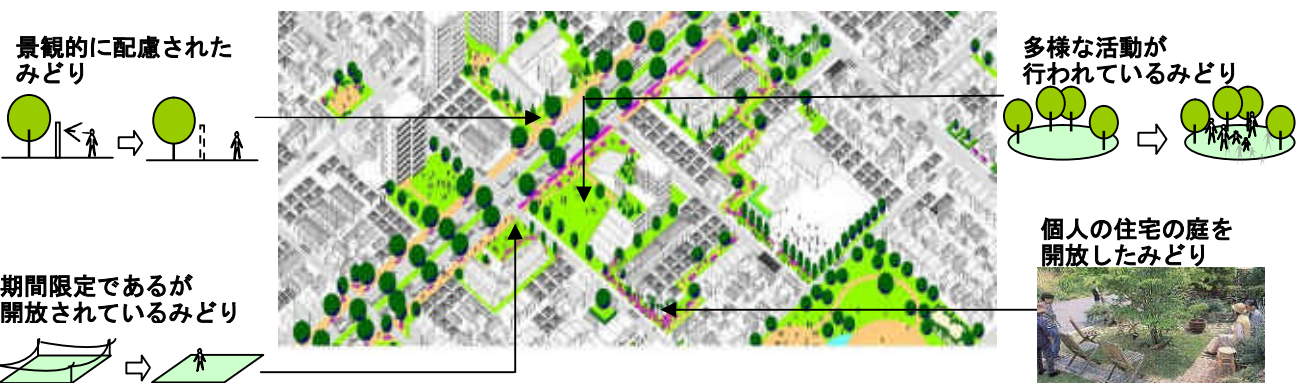
地域に愛される都市基盤施設づくりを進めるため、計画時から完成後の管理・運営に至るまで、ワークショップ方式などにより府民との協働を進めます。

府民、NPO、企業等による一定区間の清掃や花栽培など様々な活動を支援するアドプト・プログラムや公園での多様な活動を地域のみどりづくりに広げる「グリーンこらぼねっと」、森づくり委員会とサポート協議会による森づくり活動等を推進します。



◆ (仮称) グッドグリーンコミュニティ制度の検討

府が管理する公共空間やその周辺地域で行われる民間の質の高いみどりづくりを評価する制度について検討を進めます。地域交流の活性化や地域コミュニティの形成などに資するみどりとそこでの活動を評価の対象とします。



◆ みどりに関する寄附制度の拡充の検討

民間施設緑化や貴重な自然環境の保全などの事業に活用する「大阪府みどりの基金」について、企業の販売活動やイベント等とのタイアップの推進、税の優遇制度の活用などによる寄附活動の拡充を図るとともに、府民と寄附者にわかりやすい寄附制度の検討を進めます。



みどりの人づくり・組織づくり

◆ みどりに関する教育・啓発活動の推進

企業やNPO等と連携し、アドプト・フォレスト制度による「冒険の森づくり」や小学校区における「身近な生きもの調査」をはじめとする自然環境学習の場づくりとともに、「花と緑の相談所」等における情報提供などの体制づくりを進め、次世代を担う子どもたちをはじめとする府民のみどりに親しむ心を養います。

また、「おおさか山の日」「都市緑化フェア」をはじめ、あらゆる場面で啓発活動を推進し、府民全体でみどりづくりに取り組む機運を醸成します。



◆ ボランティアの育成

(財)大阪みどりのトラスト協会がこれまで果たしてきた自然環境や里山保全活動の実績やノウハウを活かし、ボランティアの組織づくり、技術指導、ボランティア団体やNPOとCSR活動とのマッチングなど、活動支援機能を充実させていきます。

また、府民の森や府営公園において、みどりの大切さを説明し、公園の円滑な管理運営を支える「パークレンジャー」活動を一層発展させていきます。



◆ 自然環境にかかる調査・研究の推進

都市における生物多様性や自然とのふれあいの場の確保、みどりの連続性の指標等とするため、生きものの生態をはじめ自然環境に関する調査・研究を市町村や府民、NPOなどと連携して進め、府民やNPOへの情報提供や、既往の都市計画や事業への反映などを検討していきます。

